第３回がん検診事業の評価に関する委員会	
平成２０年２月４日	資料４

資料４：宮城県のがん検診精度管理（宮城県提出資料）

宮城県のがん検診精度管理

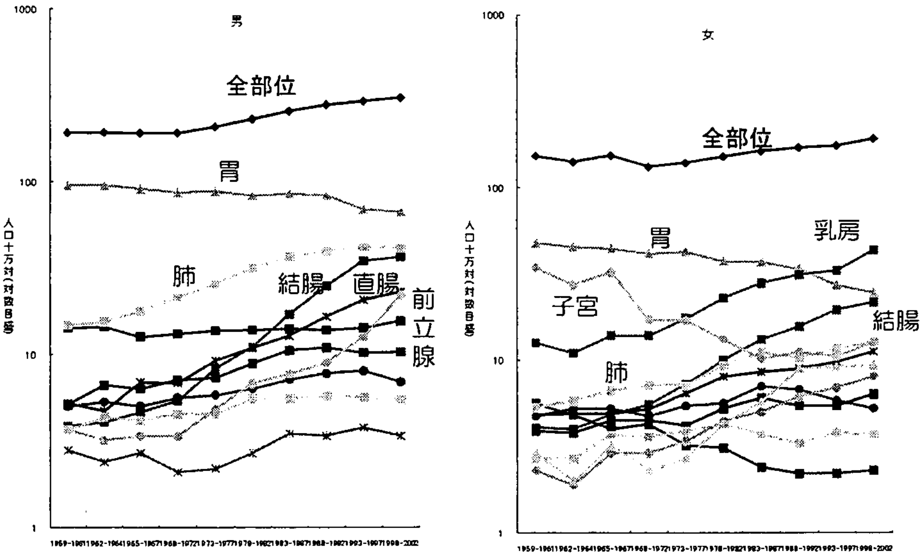
宮城県保健福祉部健康推進課

宮城県内のがん罹患

1　宮城県のがん登録開始　1951年
　DCO（死亡診断書の情報のみによるもの）　9.6%(H15年）[*1]
　I/M比（罹患数と死亡数の比）　2.25
2　年間約12,000人が、新たにがんに罹患している
3　男性の罹患率は増加、死亡率は横ばい
4　女性の罹患率は若干上昇傾向、死亡率は減少傾向
5　検診によって発見されるがんは、
　全体の１６～３９％であった

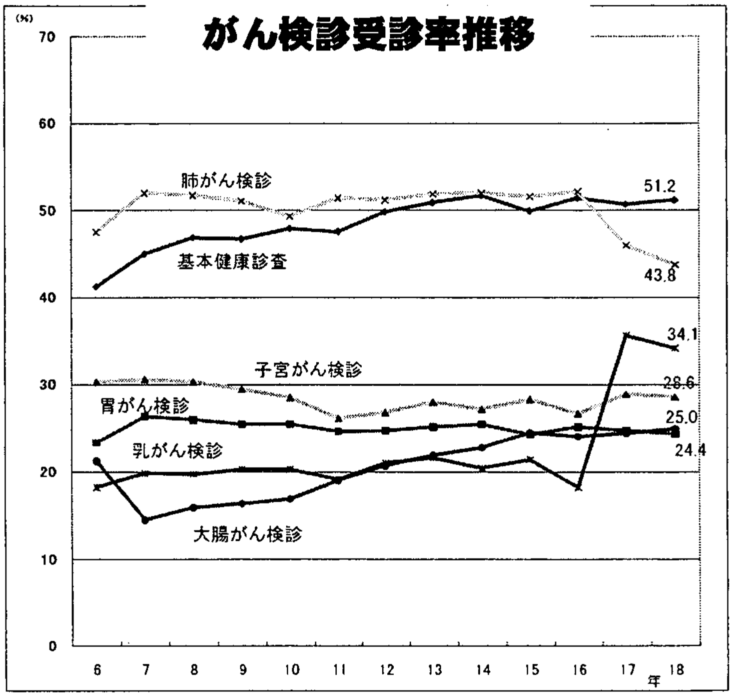
資料「宮城県のがん　1998-2002」平成10～14年の罹患数
*1：平成19年度　生活習慣病登録・評価部会資料

がんの年齢調整罹患率推移

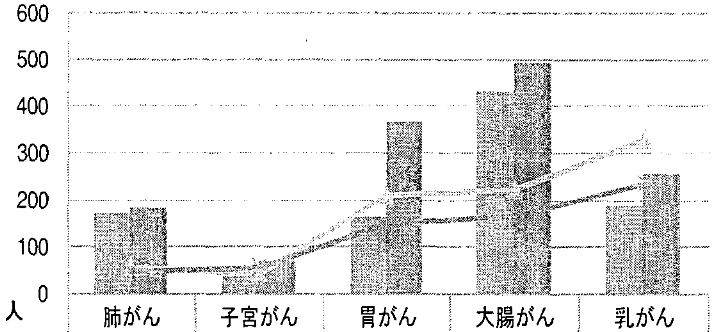


出典　宮城県のがん　1998-2002

がん検診受診率推移



がん発見数・発見率（受診者10万人対）



	肺がん	子宮がん	胃がん	大腸がん	乳がん
報告数H18	174	41	167	432	191
確定発見数H18	187	72	369	495	259
発見率H18	57.1	45.6	211.3	224.3	330.3
全国発見率H17	47.4	57	148.8	165.6	236.2

H18年度　老人保健事業報告　追跡調査結果

宮城県生活習慣病検診管理指導協議会

- 肺がん部会
- 胃がん部会
- 大腸がん部会
- 子宮がん部会
- 乳がん部会
- 生活習慣病登録・評価部会（がん登録・心疾患登録・脳卒中登録）
- 循環器疾患等部会

⇒ 合同会議 ⇒ 市町村等への指導（通知・説明会の開催・個別）

がん検診精度管理調査事業

H13年　H16年　H17 年　H18年　H19年

●肺がん検診精度管理調査開始 ⇒

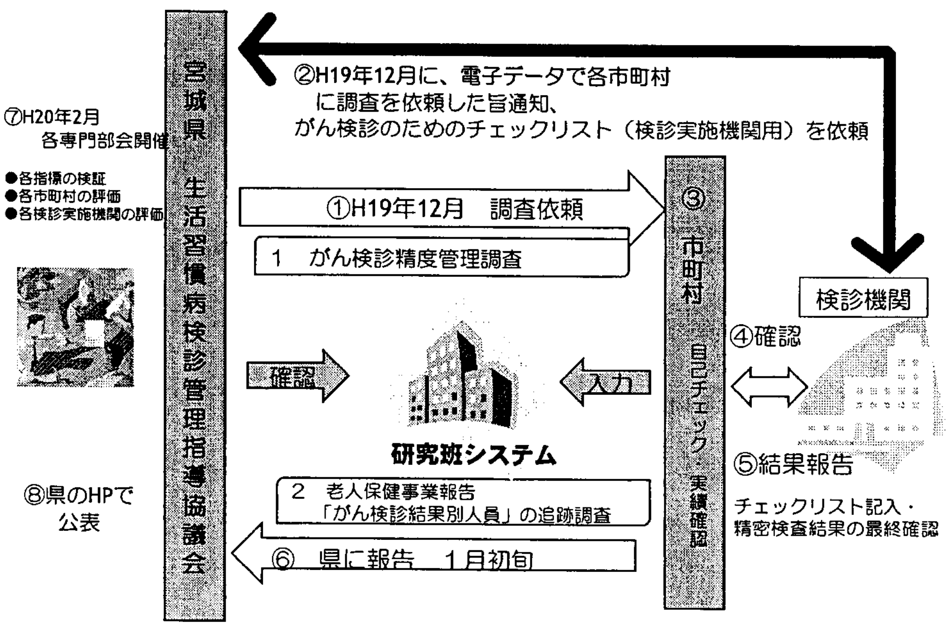
基本健康診査基準を県内全体で統一 ⇒

●胃がん検診精度管理調査開始 ⇒

●乳がん、子宮がん検診
精度管理調査開始 ⇒

●大腸がん検診精度管理
調査開始 ⇒

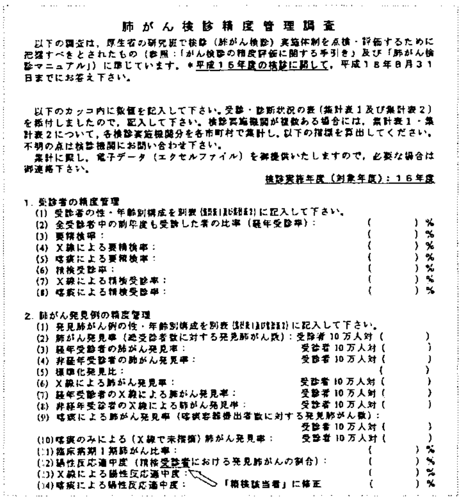
19年「厚生労働科学研究費補助金による第３次対がん総合戦略研究事業研究班」のシステムを一部活用し、５つのがん検診の精度管理調査を実施中



「がん検診精度管理調査」と「がん検診結果別人員の追跡調査」

肺がん検診精度管理調査

精度評価のための客観的なデータ（事業評価のための点検表、主要指標）その結果を公表することで、精度管理の向上を図る



肺がん検診精度管理調査

以下の調査は，厚生省の研究班で検診（肺がん検診）実施体制を点検・評価するために把握すべきとされたもの（参照：「がん検診の精度評価に関する手引き」及び「肺がん検診マニュアル」）に準じています。＊平成１６年度の検診に関して，平成１８年８月３１日までにお答え下さい。

以下のカッコ内に数値を記入して下さい。受診・診断状況の表（集計表１及び集計表２）を添付しましたので，記入して下さい。検診実施機関が複数ある場合には，集計表１・集計表２について，各検診実施機関分を各市町村で集計し，以下の指標を算出してください。不明の点は検診機関にお問い合わせ下さい。

集計に際し，電子データ（エクセルファイル）を御提供いたしますので，必要な場合は御連絡下さい。

検診実施年度（対象年度）：１６年度

1．受診者の精度管理

(1) 受診者の性・年齢別構成を別表（[illegible]）に記入して下さい。

(2) 全受診者中の前年度も受診した者の比率（経年受診率）：		（　）%
(3) 要精検率：		（　）%
(4) X線による要精検率：		（　）%
(5) 喀痰による要精検率：		（　）%
(6) 精検受診率：		（　）%
(7) X線による精検受診率：		（　）%
(8) 喀痰による精検受診率：		（　）%

2．肺がん発見例の精度管理

(1) 発見肺がん例の性・年齢別構成を別表（[illegible]）に記入して下さい。

(2) 肺がん発見率（総受診者数に対する発見肺がん数）：	受診者10万人対	（　）
(3) 経年受診者の肺がん発見率：	受診者10万人対	（　）
(4) 非経年受診者の肺がん発見率：	受診者10万人対	（　）
(5) 標準化発見比：		（　）
(6) X線による肺がん発見率：	受診者10万人対	（　）
(7) 経年受診者のX線による肺がん発見率：	受診者10万人対	（　）
(8) 非経年受診者のX線による肺がん発見率：	受診者10万人対	（　）
(9) 喀痰による肺がん発見率（喀痰容器提出者数に対する発見肺がん数）：	受診者10万人対	（　）
(10) 喀痰のみによる（X線で未指摘）肺がん発見率：	受診者10万人対	（　）
(11) 臨床病期１期肺がん比率：		（　）%
(12) 陽性反応適中度（精検受診者における発見肺がんの割合）：		（　）%
(13) X線による陽性反応適中度：		（　）%
(14) 喀痰による陽性反応適中度：		（　）%

「精検該当者」に修正

評価　A：40項目　全項目満たす

B：１～４項目未達成

C：５～８項目未達成

D：９項目以上未達成

E：無回答

肺がん検診精度管理調査の項目

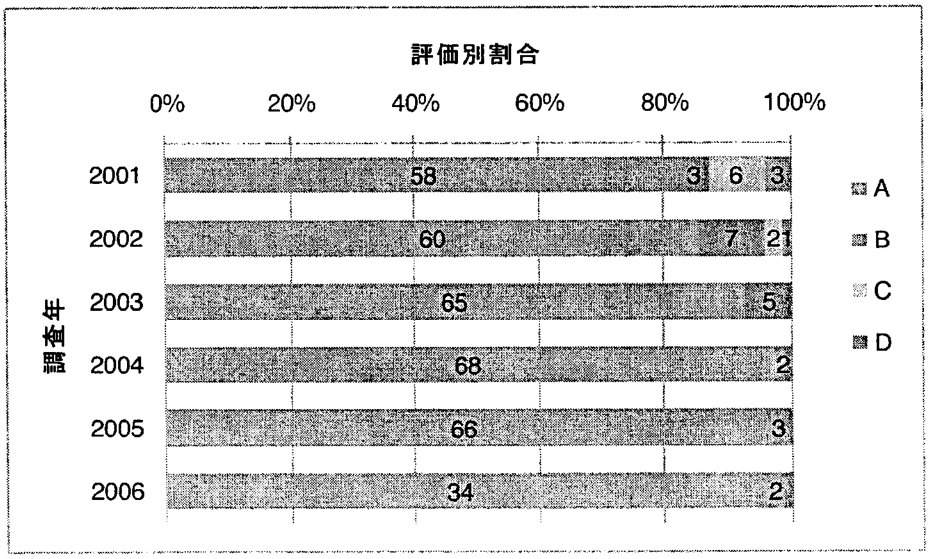
受診者の精度管理	●性、年齢別構成●経年受診率 ●要精検率　　●精検受診率
肺がん発見例の精度管理	●発見例の性年齢別構成 ●肺がん発見率 ●標準化発見比 ●臨床病期一期肺がん比率 ●陽性反応的中度
診断技術の精度管理	●撮影機器の仕様　●放射線技師の数や研修 ●二重読影の実施状況 ●読影委員会の設置 ●細胞診指導医師の数や研修機会 ●細胞検査士の数や研修機会

注）上記はＨ１８年度までの項目

肺がん検診精度管理調査の
成績経過表

調査年度		18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度
全市町村数		36	69	71	71	71	71
肺がん検診実施市町村数		36	69	70	70	70	70
評価別市町村数	A	34	66	68	65	60	58
	B	2	3	2	5	7	3
	C	—	—	—	—	2	6
	D	—	—	—	—	1	3
	E	—	—	—	—	—	—
基準を満たしていない項目		6	6	4	8	31	87

肺がん検診精度管理調査の成績



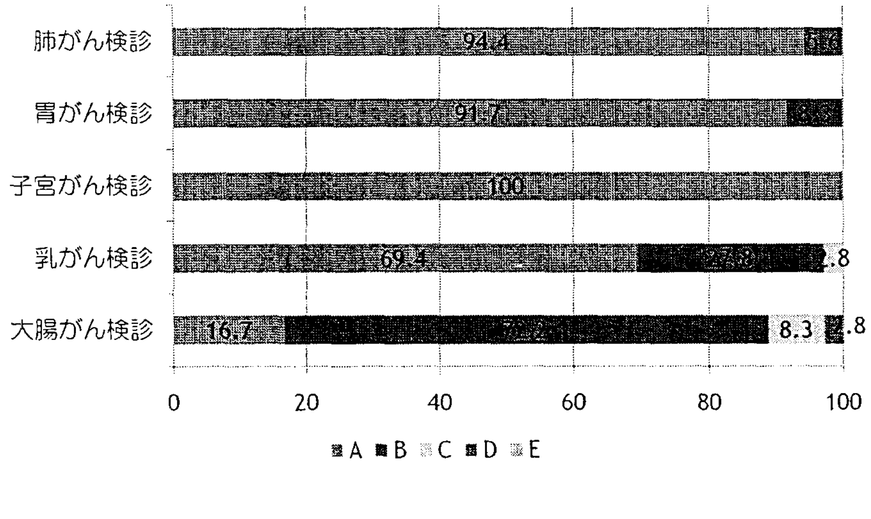
平成18年度がん検診精度管理調査の結果

市町村名　　○○市

がん検診	評価	理由	参考（老人保健事業報告H17年）	○○市	宮城県	全国(H16)	備考
肺がん検診	A		受診率	71.0	46.0	23.7	今後も受診率の向上に努めること。
			精密検査受診率	95.1	88.5	87.0	今後も受診率の向上に努めること。
			がん発見率（受診者10万人対）	46.3	48.0	47.7	
胃がん検診	A		受診率	25.7	24.6	13.2	今後も受診率の向上に努めること。
			精密検査受診率	95.8	95.4	84.3	今後も受診率の向上に努めること。
			がん発見率（受診者10万人対）	312.7	214.6	147.1	
子宮がん検診	A		受診率	23.4	28.9	13.6	年齢階級別、性別、地域別により受診率が低い集団を明らかにし対策を立てること。
			精密検査受診率	100.0	95.9	80.8	今後も受診率の向上に努めること。
			がん発見率（受診者10万人対）	62.2	44.3	49.1	
乳がん検診	A		受診率	28.1	34.5	11.3	年齢階級別、性別、地域別により受診率が低い集団を明らかにし対策を立てること。
			精密検査受診率	100.0	98.1	89.6	今後も受診率の向上に努めること。
			がん発見率（受診者10万人対）	317.8	283.4	190.0	
大腸がん検診	B	・臨床検査技師への定期的な講習会がない	受診率	29.2	24.5	17.9	今後も受診率の向上に努めること。
		・個人情報の取り扱いについて受診者に説明していない	精密検査受診率	95.2	88.3	73.9	今後も受診率の向上に努めること。
		・検診実施機関では、検体を受領後24時間以内に測定していない	がん発見率（受診者10万人対）	182.2	190.8	155.4	

* がん検診の精度管理の評価基準は別紙
* 子宮がん検診、乳がん検診は平成16年度から、隔年検診
* 受診率＝（当該年度受診者数＋前年度受診者数）－2年連続して受診した者の数／当該年度対象者数×100

各がん検診の精度管理調査結果（H17年検診実施分）



精度管理調査の実施による変化

- X線装置の買い換え（公立病院）
- 医療機関、医師会からの照会　←　関心
- 市町村と医師会、市町村と検診団体との話し合いの促進
- 市町村検診担当者の意識の向上（検診団体の選定方法、仕様書の変化、未把握数の減少）